

令和4年度・各教科等の授業改善推進プラン(小平第四中学校)

教科	生徒の実態や授業について	授業改善のための具体的な方策
国語	<p>【1年】 ◇学習規律が身に付いている生徒が多く、落ち着いて授業に取り組んでいる。話し合いながら「読み」を作り上げていく授業の中で、思考力、判断力、表現力を高めようと意欲的に授業に臨む生徒が多い。家庭学習についても習慣化してきている。話し合いを深化させていくための取り組みが課題となる。</p> <p>【2年】 ◇授業には意欲的に取り組む生徒が多く、積極的な発言も多くある。しかし学力の個人差はあり、読解の技能、漢字の書きとりなど知識の習得に苦手意識がある生徒が見受けられる。家庭学習については、まだ習慣化していない生徒も少なくない。</p> <p>【3年】 ◇多くの生徒が授業に対して主体的に学ぼうとする姿勢の高まりが感じられる。また、一つ一つの課題に堅実に取り組んでおり、授業の理解度・満足度も高い。学習に対する個人差の大きい部分はあるが、相互の話し合い、学び合いを通して、お互いを高め合う姿勢が感じられる。</p>	<p>【1年】 ◇話し合いを深めるために、話し合いの方向性をつかみ、様々な意見を比較検討し、新たな考え方を生み出していこうとする態度を育てていきたい。そのために、話し合いの流れをつかむためにメモを活用し、様々な意見と関連させた発言ができるようにしていきたい。</p> <p>【2年】 ◇各単元での目標を授業のはじめに示し、学習の見とおしをもたせる。漢字学習については、毎週の漢字テストとまとめのテストとを行っていくことで、力がついたことを実感させていきたい。読みとって、考えて書く作業をおし、表現の仕方や言葉の使い方をさらに身に付けさせたい。</p> <p>【3年】 ◇スキル教科として、各単元・教材の学習目標と、学習の過程を明確にすることで、一人一人が見通しをもって学習に取り組めるようにする。また、導入や発問の工夫により、生徒の関心を高めるように努める。特に知識・技能に関わる学習の定着に個人差が大きい傾向が見られるため、学習プリントを工夫し定着を図る。また、単元により効果的な学習者用端末の活用を図る。</p>
社会	<p>【1年】 ◇授業では活発に発言し、意欲的に取り組んでいる生徒も多い。定期考査や小テストの結果から、学力には一定の定着も見られる。レポートなどの課題には、自ら取り組み、分かりやすくまとめる力もある。資料の読解では、雨温図などのくり返し学習している図説から読み取る力はあるが、新しい階級区分図などに対応する力は弱い。</p> <p>【2年】 ◇授業では落ち着いて集中して学習に取り組んでいる。社会科に対する興味関心もある程度あり、主体的に学習する様子が見られる生徒もいる。レポートなどの与えられた課題にも概ね自ら調べまとめることができている。一方で、資料を探し活用し、分かりやすく表現することにやや課題が見られる。</p> <p>【3年】 ◇終始落ち着いた態度で授業に取り組み、主体的な学習活動ができている。定期考査では、知識や技能に関する問題の正答率は高く、思考・判断・表現力を高める努力をし続けている。1年生、2年生での既習事項を総合的に問う形式の問題への対策が必要である。</p>	<p>【1年】 ◇様々な図説(階級区分図)を提示し、粘り強く学習させる取り組みが必要である。授業では図から読み取る、資料の読解の時間を確保し、ヨーロッパの国の位置など、知識・理解については、プリントやワークブック等を宿題を通して、一定の定着を図るようにする。</p> <p>【2年】 ◇白地図や学習者用端末を活用し、地理や歴史に関する様々な資料に触れる機会を設ける。資料を探し出したうえで、そのものについて議論したり、活用する時間を設定し、思考・判断・表現力の向上をはかる。</p> <p>【3年】 ◇公民的分野の学習に際し、地理的な見方(空間的な把握など)や歴史的な見方(時系列など)を活かすことを意識させる。相互に関連する出来事へリンクできるように、有用な情報をより精選しつつ関連付けさせ、総合力を上げることが必要である。</p>
数学	<p>【1年】 ◇授業アンケート結果では、ほぼ全員の生徒が授業に集中して取り組んでいる。一方、学び合いやICTの活用など、生徒が主体的に考えたり、発表したりする時間が少ないところが課題である。</p> <p>【2年】 ◇計算プリントに取り組むことで、復習ができるという生徒が多く、意欲的に問題に取り組む生徒が増えた。数学に苦手意識を感じている基礎クラスの生徒へのきめ細かい指導が課題である。</p> <p>【3年】 ◇落ち着いて授業に取り組んでいる。3年生ということもあり、積極的に学習に取り組んでいる生徒が多い。解らなくなったときにも、意欲的に取り組む生徒が多い。基礎の生徒の学力をさらに伸ばすことが課題である。</p>	<p>【1年】 ◇毎授業、学習の振り返りを行う。デジタル教科書等を用いながら、発表の場や教えあいの場を設ける。また、解説等のデジタル配信(プリントや動画など)をして、家庭での学習の手助けをしていく。</p> <p>【2年】 ◇習熟度別授業を活用して、数学に苦手意識のある生徒に対し、個別に丁寧に指導するようにする。また、放課後に自習室を設けたり、小テストを毎週行ったりすることで、学習の手助けをしていく。</p> <p>【3年】 ◇授業開始時における計算演習の徹底を図ることで、基礎学力の定着を図る。習熟度別少人数授業の形態を生かし、生徒の習熟状況に応じたステップで学習できるよう指導する。放課後に実施している自習教室を活用し、個別指導を徹底するなど日頃からの学習の積み重ねを大切にする。</p>

理 科	<p>【1年】 ◇科学に対する興味・関心は全体的に高く、積極的に実験に取り組んでいる。しかし、生物の観察において、事前にポイントをおさえても、熱心に観察しない生徒がいたり、普段の生活の中で、科学的な思考力が未だ養われていない生徒が多い。</p> <p>【2年】 ◇科学に対する興味・関心は全体的に高く、積極的に実験や観察に取り組んでいる。ただし、気が付いたことや自分の考えを文章にして表現するのが苦手な生徒も多い。授業中、集中して話を聴き、メモをとるなどの工夫をする生徒が少しずつ増えてきている。</p> <p>【3年】 ◇科学に対する関心が高い生徒が多く、ノートに各自でまとめる自主学習のページは昨年度までよりさらに充実している。全体的にも、授業に前向きに取り組み、実験や観察も協力して行っている。習得した知識を活用して科学的な思考・表現に結びつける力に課題がある。</p>	<p>【1年】 ◇実験などは、できるだけ少人数グループで取り組めるように準備し、さらに興味・関心を深めていくようにする。また、学習者用端末を用いて科学的な思考力を高められるよう、調べ学習を取り入れたりしていくようにする。また、理科の分野でのプロフェッショナルの紹介など、職業とのつながりについて、紹介する機会を増やしていくことで、関心・意欲をもっと高めたい。</p> <p>【2年】 ◇実験などは、できるだけ少人数グループで取り組めるように準備し、さらに興味・関心を深めていくようにする。また、学習者用端末を用いて自分の考えを書かせる機会をつくっていくようにする。小テストは、全員が満点を目標せるよう、できるだけ範囲を短く、出題の仕方も工夫していく。</p> <p>【3年】 ◇実験・観察は、全員が役割をもって取り組めるように工夫すると共に、端末で写真、動画を記録するなど、ふり返りも行える手段を充実させて。端末を積極的に活用し、自分の興味のあるところから学習したり、調べたり、まとめたりする活動を通して主体的に学ぶ姿勢を育む。学んで気づいたことを自分の言葉で表現する資質・能力を伸ばす。</p>
英 語	<p>【1年】 ◇意欲的に学習に取り組んでいる。発表やインタビューなどのパフォーマンスにも積極的で、一生懸命にできる。一方で、知識を蓄積するための反復練習や粘り強く練習することへの習慣ができていないため、覚えて書くことに関する能力が課題である。</p> <p>【2年】 ◇落ち着いて静かに授業を受けることができている。ペアワーク等にも取り組むことができている。教科書の内容理解で英問英答に取り組む始め、徐々に慣れてきて、正答率が上がってきている。一方で宿題、提出物、作文やスピーチ等の自己表現活動に課題が残る。</p> <p>【3年】 ◇生徒同士の学び合いを活発に行うことができている。発音やイントネーションに対する意識が昨年度以上に低下している。まとまった文量の英文を読み内容を理解する力を高めていくことが必要である。身に付けた知識・技能を活用する即興力を高めていくことが今後の大きな課題である。</p>	<p>【1年】 ◇帯活動での反復練習や、知識を応用していくレッスントスクを繰り返していき、知識習得するための方法を体得させていく。学習者用端末等の視覚的聴覚的な刺激を取り入れながら自宅での学習指導も並行して行っていく。</p> <p>【2年】 ◇定型文のQ&Aを練習し、一部を自己表現に変える練習に取り組む、自己表現する機会を増やしていく。話し合い活動を増やし、自分の思いや考えを伝える練習をしていく。宿題は学習者用端末等を利用していく。</p> <p>【3年】 ◇授業における帯学習を通して、発音・イントネーションについてこだわって指導を行う。また、読解力を高めるための帯学習を1年間通じて行う。即興力を高めるための活動として、Picture Describing, Speaking Testを定期的に行う。また、Writingにおいては、個に応じた添削指導を定期的に行う。</p>
音 楽	<p>【1年】 ◇歌唱に対して積極的な生徒が多く、授業中の発言も多い。毎回の授業始めにストレッチ、発声、校歌を歌うことで、歌唱に必要な基礎的な技能を身に付けさせている。</p> <p>【2年】 ◇落ち着いて授業に取り組む姿勢が身につけている。プリントなど与えられた課題をしっかり取り組むことができる。一方で、歌唱や発言など自己表現をすることに消極的な生徒が多い。</p> <p>【3年】 ◇2年時に比べて歌唱に積極的に取り組むことができている。その一方で声量の大きさと表現の積極性に課題が残る。鑑賞の授業では、ワークシートに自らの考えを細かく書くことができているが、知識を生かしながら思考することが困難な生徒もいるため、個別に対応していきたい。</p>	<p>【1年】 ◇教師が模範として歌うことはもちろん、生徒同士で演奏を聞き合い、改善点や参考点を見つけ、自分の演奏に生かす活動を取り入れる。</p> <p>【2年】 ◇歌う楽しさを感じられるように、さまざまな合唱映像を鑑賞させる。 ◇合唱コンクール練習でのパート練習を数多く取り入れ、仲間と話し合いながら曲を作り上げていく楽しさを味わわせる。</p> <p>【3年】 ◇毎時間の発声メニューにプレトレーニングを追加し、正しい息の使い方、楽な身体の使い方を身に付けさせる。 ◇合唱コンクールに向けて、教師が一方的に歌い方を伝えるのではなく、生徒同士で意見が飛び交うようなグループワークを取り入れる。 ◇鑑賞の授業では、jamboardを使用し、班ごとで誰でも考えを共有できるよう工夫をする。</p>

美術	<p>【1年】 ◇課題への関心・意欲があり、積極的に発言する生徒が多く、実技への取り組みもよい。互いに教え合うなど発展的な活動が見られるが、やや集中力が持続しないクラスもある。作品から感じたことを言語化し、積極的に発言することができる生徒が多い。</p> <p>【2年】 ◇落ち着いて授業へ取り組み、課題への関心はあるが、基本的知識・技能の定着に個人差があるため授業進度に差が出る。1年時に比べ発言が消極的になった。個別指導を必要とする生徒への対応が必要である。</p> <p>【3年】 ◇集中して授業に取り組み課題への意欲も高く、2年時に比べ発言が多くなった。描画表現に力を発揮する生徒が多く、例年に比べレベルの高い作品が多い。表現への知識・技能の応用、創意工夫することに努力する生徒が多い。反面、個別指導を必要とする生徒も少数だがいる。</p>	<p>【1,2,3年】 ◇各授業の本時の目標と授業（作業）の流れと本時のポイントがわかるよう黒板やホワイトボードで掲示する。 ◇実技課題に関連させた鑑賞活動を取り入れる。 ◇机の配列に変化を持たせ、聞く姿勢を身に付けさせる。 ◇生徒の作品や参考作品など具体例を提示することで、視覚的に注視させ興味・関心をもたせる。 ◇映像メディアを活用した鑑賞活動の充実を図る。 ◇イメージを言語化するためのワークシートを活用したり、アイディアスケッチの段階での個別指導の充実を図る。 ◇自分の考えを深め、多様な見方、感じ方に気づかせ創造の幅を広げる鑑賞の工夫を行う。 ◇基礎的な技能を身につけるための練習課題と実技テストの実施、達成度に応じた個別指導を充実させる。 ◇発言の機会や発問を工夫し、発言を促す。</p>				
保健体育	<p>【1年】 ◇どのクラスも意欲的に学習に取り組んでいる。男女共修は小学校で経験しているので違和感なく活発に取り組んでいる。課題として握力や持久力などの基本的な体力が都や国の平均より低い点にある。</p> <p>【2年】 ◇男女共修になったが、自分の課題やチームの課題を解決しながら落ち着いて授業に取り組むことができている。男女間で技能レベルの差が大きいことが課題ある。</p> <p>【3年】 ◇男女共修になったが、落ち着いて授業に取り組んでおり、まじめな学習態度で臨む生徒が大半である。しかし、チーム内や異性とのコミュニケーションが不足している点に課題が残る。</p>	<p>【1年】 ◇基本的な体力向上のために、筋力トレーニングや持久力を高める運動を適宜取り入れていく。</p> <p>【2年】 ◇男女でお互いを教え合うなどの練習時間の確保。また、技能が高い生徒をよく観察し真似をしてみるなど主体的に取り組む時間を増やしていく。</p> <p>【3年】 ◇コミュニケーションを増やし、主体的に取り組むためにチームごとの練習時間を確保したり、自由度の高いメニューを組み入れるなどの工夫をおこなう。</p>				
技術・家庭科	<p>【1年】 ◇授業では、活発な発言があり意欲的な取組ができている。発表と聞く部分のメリハリが不十分である。</p> <p>【2年】 ◇授業では、課題に真剣に取り組んでいる。実習では、具体的な作業計画を立てて、作業が進むように工夫が必要である。</p> <p>【3年】 ◇授業では、意欲的に取り組んでいる。学んだ事柄が定着できていないので、次の授業や考査で発揮されていない。</p>	<p>【1年】 ◇発表と聞く部分のメリハリをつける声かけ、指導をさらに行う。</p> <p>【2年】 ◇授業に取り組む姿勢を意識的に振り返る時間設定。疑問や作業進行等、クロームブックを活用させ、じっくりと考えながら課題を解決できるように授業展開を工夫する。</p> <p>【3年】 ◇授業で学んだことを、考査で発揮できるように、復習等についても授業内で指導をおこなっていく。</p>				
道徳	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">生徒の実態や授業について</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">授業改善のための具体的な方策</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>発問に対して真剣に考え、活発に意見や考えを述べる様子が見られる。ワークシートにもたくさんの考えを書き、友人の考えを詳細に記述している生徒もいる。その一方で、なかなか考えをまとめられずワークシートに記述できていない生徒もいる。また、意見や考えを述べる生徒が限定的になってしまう傾向があるのが課題である。</p> <p>授業では、今年度もローテーション道徳を実施し担任以外の先生の授業を実施し、ICTを活用したりと興味・関心をひく授業の実施に努めている。</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>単調になりがちな道徳の授業を、映像やICTを活用し興味・関心をひいていくことが必要と考える。また、意見や考えを出し合う場面として、全体や班、ペアなどより話しやすい状況を作り工夫していく。</p> <p>引き続き、校内研修会等を通して、道徳的な判断力、心情、実践力と態度の育成を図るための授業改善を引き続き行うとともに信頼性と妥当性のある評価の研究を行う。</p> </td> </tr> </table>		生徒の実態や授業について	授業改善のための具体的な方策	<p>発問に対して真剣に考え、活発に意見や考えを述べる様子が見られる。ワークシートにもたくさんの考えを書き、友人の考えを詳細に記述している生徒もいる。その一方で、なかなか考えをまとめられずワークシートに記述できていない生徒もいる。また、意見や考えを述べる生徒が限定的になってしまう傾向があるのが課題である。</p> <p>授業では、今年度もローテーション道徳を実施し担任以外の先生の授業を実施し、ICTを活用したりと興味・関心をひく授業の実施に努めている。</p>	<p>単調になりがちな道徳の授業を、映像やICTを活用し興味・関心をひいていくことが必要と考える。また、意見や考えを出し合う場面として、全体や班、ペアなどより話しやすい状況を作り工夫していく。</p> <p>引き続き、校内研修会等を通して、道徳的な判断力、心情、実践力と態度の育成を図るための授業改善を引き続き行うとともに信頼性と妥当性のある評価の研究を行う。</p>
生徒の実態や授業について	授業改善のための具体的な方策					
<p>発問に対して真剣に考え、活発に意見や考えを述べる様子が見られる。ワークシートにもたくさんの考えを書き、友人の考えを詳細に記述している生徒もいる。その一方で、なかなか考えをまとめられずワークシートに記述できていない生徒もいる。また、意見や考えを述べる生徒が限定的になってしまう傾向があるのが課題である。</p> <p>授業では、今年度もローテーション道徳を実施し担任以外の先生の授業を実施し、ICTを活用したりと興味・関心をひく授業の実施に努めている。</p>	<p>単調になりがちな道徳の授業を、映像やICTを活用し興味・関心をひいていくことが必要と考える。また、意見や考えを出し合う場面として、全体や班、ペアなどより話しやすい状況を作り工夫していく。</p> <p>引き続き、校内研修会等を通して、道徳的な判断力、心情、実践力と態度の育成を図るための授業改善を引き続き行うとともに信頼性と妥当性のある評価の研究を行う。</p>					